# とまれ足型マークの塗布

**校外補導委員会は、子どもたちの健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が一体となり、交通安全の推進、学校内の環境の保全に努めています。**

10月21日水曜日、さわやかな秋晴れの中、校外補導委員による“とまれ足型マークの塗布”が行われました。今回は新しい足型マークが必要と判断した古出来周辺での塗布作業です。

正門前に集合です。
委員長より本日の
スケジュールの説明を
受け、現地に向かいます。

車道の停止線のラインなど確認しながら、足型マークをつける最適の位置を決めていきます。
ほうきでゴミを取り除き、マークを切り抜いたボードを置いたら、ムラにならないようホワイトスプレーを塗布。ボードを取り除いたら、完全に乾くまで歩行者や車に迷惑がかからないよう注意します。
うちわで扇ぎ、スプレーが完全に乾いたら・・・足型マークの完成です。

足型マークは子どもたちが道路を横断する際、一旦停止し、左右の安全を確認するように視覚から訴える「命を守るマーク」です。
足型マークを見つけたら、一旦停止し、車や自転車が来ていないかどうか**立ち止まって周囲の安全を確認する習慣**をつけましょう。

近年、小学生の交通事故で最も多いといわれているのは、飛び出し、信号無視、安全確認不足など、**本人の交通ルール違反が原因**によるものです。
子どもは大人よりも視野が狭く、ひとつのものに注意が向くと周囲が目に入らなくなってしまう傾向があります。またお友達が一緒だと注意力が散漫になったり、安全確認を忘れてしまったりすることもあるかもしれません。足型マークがない場所でも、まわりを見回し、危険を察知する習慣をつけましょう。
ご家庭でも普段から交通ルールや安全についてお話いただき、**「止まる」「見る」「待つ」**の安全確認の意識づけをお願いいたします。

**学区内で危険な箇所などありましたら、各クラスの校外補導委員までお知らせください。**